

4月から

# 市バス 乗継・往復が60分以内 なら、2乗車目は無料に

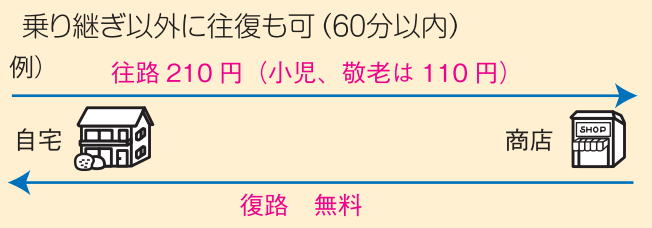
高齢者をはじめ市バス利用者の負担軽減と利便性向上が求められています。これまでも、きだ結と日本共産党は、敬老パスの無料復活、短時間の往復乗車の割



渦が森、住吉山手地域のバスの課題について住民の方と神戸市交通局に要望(右から西市議、きだ。2012年1月19日)

引、南北路線の新設などを要望してきました。今回1乗車目の降車から2乗車目の降車まで60分以内であれば、2乗車目は無料になります(PiTaPa、ICOCA、敬老ICカードが対象)。

引きつづき、御影山手、渦森台などへの南北路線導入なども求めています。



## 保久良山の治山整備を

昨年9月の豪雨による土砂崩れ箇所は復旧作業が行われましたが、再発防止のため山道全体の対策が必要です。本格的な治山工事を求める署名第1次分を添え、住民の方と六甲砂防事務所に要望しました。六甲砂防事務所では住民の皆さんの声に応え、1月から危険箇所の調査を始めています。



本山地域住民の方と六甲砂防事務所へ署名を提出(奥左から、松本市議、きだ、西市議。1月15日)

## 女性政策研究会

県議会の超党派の女性議員で、女性の社会参画支援や、対策が必要なDV、虐待対策などについて調査、NPO団体との懇談など研究会を行っています。これまで、民間シェルターや婦人寮(暴力をふるう配偶者等からの女性・母子の緊急保護所)、県立女性家庭センターの調査、県の施策(育児等で離職した女性の再就業支援、女性が働きやすい職場づくり等)について、県当局との意見交換などを行ってきました。



性暴力被害者支援センター・神戸の代表・事務局(後姿)の方から現状をお聞きする(3月5日)

## バス通学の自己負担への助成を

南北に長く、標高差のある小・中学校校区では、通学バスなど公共交通機関の利用を余儀なくされている児童・生徒が少なからずいます。大阪市や京都市では無料パスポートや助成制度がありますが、神戸市にはなく自己負担となっています(例、渦が森小学校では、バス通学者が122名/全校生徒数781名。年間の自己負担は1人当たり約2万8千円)。神戸市に対し助成制度を創ることを求めています。



渦が森小学校保護者の方と神戸市教育委員会に要請(2月13日)